

## 「沼のほとり」

発行責任者 遠藤織太郎(TEL:04-7182-0387) 編集責任者 國方幸生(TEL:04-7184-3385)

事務所:我孫子市白山二丁目13番5号

e-mail:info@teganuma-trust.jp

ホームページ:http://teganuma-trust.jp ブログ:http://blog.goo.ne.jp/teganuma-trust/



### 活動報告 1 (そばの収穫)

8月20日(土)、63名の会員が参加してそばの種まきを行いました。年間で最も暑いといわれる時期ですが、前日の19日は一時間に15mmの激しい雨が降り、当日は快晴で最低気温が20、最高気温24という爽やかな農作業日和になりました。しかし、前日の大雨でファーム圃場ではぬかるみから脱出できなくなった女性会員も出る等、作業は難航しました。

今年は種(茨城県金砂郷産常陸秋そば)を更新し、ミカン山下圃場(約350㎡)とファーム圃場(約700㎡)に約5kgの種を蒔きました。ミカン山下圃場は平畝で、ファーム圃場は土壌の水分量が多いため高畝にしました。5日ほどで発芽、二週間程で開花、除草、培土、厚蒔きのところの間引き等の作業を行い、生育は順調でしたが、花が満開となり受粉(昆虫による他花受粉)が始まった頃、台風の来襲によりかなりの株が倒伏してしまいました。修復するのも茎を傷める等のリスクがあり、鳩首協議の結果、放任することにしました。

播種から約70日の10月22日はそばの刈取りの予定でしたが、生育の遅れからファーム圃場の刈取りに留め、ミカン山下圃場の刈取りは一週間遅らせることにしました。刈り取ったそばはハザに架け天日干し、一週間後に脱穀、更にその翌日、玄そばをシートに広げ半日程度乾燥させました。会員の皆さんの作業量は例年の2倍になりました。その結果、皆さんの努力の甲斐あって、玄そばで60kgの収穫ができました。

「イザ!製粉」という段階で、アクシデント発生。例年製粉をお願いしている農家さんが製粉機の故障で、11月26日の「そば祭り」に間に合わないとのこと。急遽、遠藤理事長が筑波大学関係の方をお願いし、筑波山の北側に位置する真壁町の製粉所(製粉方法は石臼挽き)さんを紹介していただき、何とか「そば祭り」に間に合わせる事ができました。玄そば60kgに対して、43.5kg(収率約72%)のそば粉を収穫することが出来ました。

今年のそばは種を更新し、始めは順調、途中でアクシデント続出でしたが、最後は風味豊かな「新そば」を皆さんと共に楽しむことになりました。(國方 幸生 記)

## 活動報告 2(樹林地管理)

11月2日(水)晴れ

11月にしては、ポカポカ陽気が続いています。これも、地球温暖化の影響でしょうか。本日も先月に引き続いて、根戸城址の管理を中心に活動をしました。主な作業は、10月の台風と長年の歳月にさらされてかなり老朽化が進んでいる城址にあがる道の左右に設置している「手すり」の架け替えでした。集まったメンバーは、数こそ少ないものの精鋭ぞろいです。まずは、グラグラしている支柱を抜いて手すりを外すところからです。事前に、リーダーのT田さんが支柱を用意してくれていたのですが、メンバーのS木さんから「そんな細いんじゃあ、3年も持たないよ」との発言。以前切り倒した杉の木が城址に転がっていましたので、それを支柱とすることにしました。約2m弱に切りそろえて、斜面に木槌で埋めて行きます。埋めた後は、手すりとなる竹を支柱に結び付けて完成です。見違えるほど立派な手すりが出来ました。そば祭りで御越しになった際は、是非ご覧くださいませ。一方で、女性メンバーはみかんの収穫に当たってもらいました。今年は、なり年ではないとのことで、正直あまり期待はしていませんでした。それでも、約3kg程を収穫することが出来ました。筆者もいただいて賞味しましたが、甘さも程よくとても美味しかったです。これからが本番ですから、農教室やイベント時に味わいましょう。その後、城址組は、外堀周りの枯れ枝の片づけを行い、解散としました。作業に参加された皆様、どうもお疲れ様でした。

(原田 泰夫 記)

## 活動記録 3(農教室)

(1) 11月13日(日) 8:30~12:00(晴れ)

(参加人数:41名)

昨日の土曜日に農教室を行う予定であったが、あいにくの雨で今日に延期された。今日の作業は、そば脱穀、サツマイモ収穫及びネギの収穫等を行った。サツマイモの収穫作業では、初めに鎌を使用して、畑一面に張り巡らされた蔓を切ろうとするが、思うように切れない。鎌自体がかなり使い込まれており、刃が錆びついているようだ。「鎌使用后、刃を磨いておかないと今後使用できなくなるよ」と自問自答しながら作業を進めていった。他の会員の人達もそう感じているのではないかな? 蔓をすべて切り、いよいよシャベルで掘り起こしにかかる。畑のどこからか、歓声が上がった。蔓を一本ひっぱると、土の中からもつこりと数個のかなり形のよいベニアズマ芋がつぎつぎと姿を現した。これはなかなかのどきである。掘り起した芋を一輪車で、集会場に運びこみ、今日参加した会員の方々へ分配するため、女性陣による分配作業(5kg/1人、1袋)が進められた。すべての作業終了後、参加された会員の方々は一入ひとり芋を袋に詰めて重そうにして、苗を植え大切に栽培してきた苦勞をしみじみ感じながら帰宅されたのではないだろうか。

(2) 11月20日(日) 8:30~12:00(晴れ)

(参加人数:42名)

今週も土曜日は雨で、今日に農教室が変更となった。今日の農作業は、サトイモ収穫、ダイコン収穫及び秋野菜の収穫である。初め、ダイコン栽培圃場に行き、参加者に一人、1本ずつ好きなものを抜き取るようになった。太いものから細いものまであり、参加者の方々は、一斉に目を輝かせて、どれがよいかと口々にいいながら思い思いにダイコンを抜き収穫の喜びを感じられていたのではないかな。その後、サトイモが作付けされている圃場に移動した。サトイモの茎を切り、今まさに芋の掘り起しが始まった。シャベルを使って一株一株掘り起していく。今年はかなり種イモを植え付けており、また一株に10個以上できており、600個以上と多くの収穫があった。しかし、昨日の雨で土壌がひどくぬかるんでおり、シャベルによる掘り起しにかなりの力がいったのか、作業に相当な時間がかかり、会員の方々は一入一入になっていったようである。しかし、収穫量が多かったため、その苦勞も、全ての作業が終了し、各自収穫物を持ち帰るころには、いい疲れとなり、自宅に帰ってからさっそく食された人もいたのではないだろうか。自分たちで育て、そして収穫後、食することの喜びを感じられれば、本活動の目的が達成されたのではないだろうか。

(浅妻 正 記)

### 「へちま」は優れもの!

「へちま」はウリ科の蔓性一年草、熱帯アジア原産。果実に繊維があるため、「糸瓜(イトウリ)」と呼ばれていた。「イ」が略されて「トウリ」とも呼ばれるようになった。「トウリ」(唐瓜ともいう)の「ト」が「いろは」の「へ」と「ち」の間にあるため、「へちの間」で「へちま」になったとか? (HP 語源由来辞典より)

三年前、会員のSさんから「へちま」の苗を頂いた。農教室の栽培品種に加えられ、小生の担当になった。正直言って渋々担当したのだが、段々面白くなってきた。第一に幼い果実は食べられる。猛暑で食欲が減退しているときには喉ごしもよく、沖縄や南九州でよく食べられているというのも頷ける。第二が「ヘチマタワシ」だ。これを作るのが厄介だ。秋になり、完熟した実を水に浸け、果皮を腐らせ繊維をとり、乾燥させる。出来上がったタワシは毎日の風呂で愛用している。興味のある方、一度お試しあれ。第三が化粧水「ヘチマコロン」だ。これは北田さんのレポートに譲る。そして、極めつきが「緑のカーテン」だ。電力消費節減に来夏は大いに活躍すること間違いなし。

(國方 幸生 記)

### ヘチマ化粧水を使ってみて

使い始めたのはまだ汗ばむ頃、さっぱりして気持ちいいし肌もしっとり、なかなか良いのではと思ったのですが、臭いが気になります。一昨年、ヘチマタワシを作ったときのあの臭いがするのです。もちろん、あの強烈さではありませんが、顔には使用できず、ボディ用に使いました。風呂上りにとても良いです。自然のものは環境にも人にも優しいはず、使っているうちに臭いには慣れたのですが、残念なことに使い終わってしまいました。

(北田 のり子 記)

日本ミツバチの話(その3)

富澤 崇

私には縄文人の血が弥生人の血より濃く流れているらしい。何かを気長に育てるよりも、目の前に有るもの、居るものを手っとりばやくとって食べる方が性に合っている。

こんなこともあった。八丈島に赴任していたころ、酔った挙句、卓上にはいあがってきたシロアリを食べてみたことがある。いかにも栄養に富んだ食べ物にみえたからである。シロアリはべつに不味くもなく腹もこわさなかったが、酷い目にあったこともある。これも島にいたころのことだが、道端に美味そうな芋がたくさん生えている。サトイモに似ているが、葉はギザが入っていて、長芋のような根が露出している。これは食べそうだと、爪の先で削りとって口に入れてみた。かすかに甘い。一緒に散歩していた女房の口にも入れてやった。数秒後、強烈なえぐみが襲ってきた。そのえぐみたるや空前絶後、文字通り今まで口に入れた物の中で最悪、最強のものだった。中学校の修学旅行で、口を開けていぎたなく寝ているあいだに、悪童に正露丸をほうりこまれ、何が何だかわからないうちにクレオソートをたっぷりねぶったことがあるが、とうていこの芋の比ではない。口腔中の粘膜が、味蕾が、一斉に悲鳴をあげ、この焼けつくようなえぐみは毒だ、毒だと叫びたてる。口に入れたのは爪の先でかき取っただけの量である。うがいを繰り返してもえぐみは消えず、丸一日味覚は戻らなかった。以後、女房は私の差し出すものはぜったい口にしない。島の人達に

聞くと、それは「クワズイモ」といって食えない芋だという。食ったことがあるかと聞くと、みな呆れたような顔をして、そんなもの食ったことはないという。当り前の話である。

こんな原始縄文人が、ミツバチを飼育するなどという高度な弥生的文化人になぜ進化しえたのか。それはひとえに我孫子に越してきて、豊かな自然に接したおかげである。目の前にひろがる豊かな湖水(手賀沼)、たわわに実る稲穂(根戸新田)、こんもりと緑なす丘(手賀城)、これらの刺激によって、私のなかの弥生的なるものが突如目覚めたのである。

直接のきっかけはこうだ。我孫子に越してきた年の末だった。『風のガーデン』という連続テレビドラマを見た。伏し目がちなのに、顔をあげるとじっと睨むような瞳が蠱惑的なヒロイン。彼女に片思いの蜂飼いの若者が面布をつけてかいがいしく蜂の世話をする。それ見ているうちに、ふと「蜂、飼えるかな」と思った。決してヒロインに思いを寄せる若者になりたいと思ったわけではない。「ここなら蜂、飼えるかな」と思ったのである。手賀沼の湖上をつぶてのように飛び交い、一面のクローバに群がり、手賀城の高みに巣づくりするミツバチ。ここなら、蜂が飼えそうだと、私の中の弥生が呼びさまされた瞬間である。

こうして年末に養蜂に目覚めた私が、なんと翌春5月に一挙に5群もの蜂を捕獲し、みごと蜂飼いになるというミラクルストーリーは次回のお楽しみ。

安全管理委員会報告

11月2日(水)に平成23年8月28日付で制定した安全管理規程に基づいて、安全管理委員会を開催いたしました。安全管理委員会は当法人の会議体のひとつで、各事業グループの活動中の災害や事故を未然に防止し、安全に活動を行うことを目的に設置したものです。会議規程第5条の規定に従って、毎年4月に開催いたしますが、今年度は7月12日に法人が設立され、11月2日に開催の運びとなりました。以下に審議決定事項についてご報告いたします。

1. 平成23年度安全管理方針について

今年度の安全管理方針を

「会員の安全意識の向上」

と定め、以下の基本的事項の徹底を図ることいたします。

- (1) 作業開始時の安全確認
  - ・作業上の留意事項の確認
  - ・作業用機器類の使用上の注意
- (2) 作業終了時の反省
  - ・作業用機器類の点検

・「ヒヤリ・ハット」事例の共有

- (3) 自己健康管理の徹底
- (4) 事故発生時の対応
  - ・救急箱の整備及び応急手当実習
  - ・救急救命講習の実施
- (5) 緊急連絡体制の確立
  - ・救急搬送体制
  - ・ネームプレートの裏面に緊急連絡先、血液型等を記入し、活動中携帯すること及び保管は各自行うこととします。(ネームプレートは事務局で作成し、各自記入して頂きます。)

「ハインリッヒの法則」

諸作業による死亡事故及び重傷事故1件が発生する背景には、軽傷事故が29件あり、その下には「ヒヤリ・ハット」の無傷事故が300件あるといわれている。

2. 我孫子市消防本部出前講座の実施

2月頃、理事、監事、運営スタッフを対象に我孫子市消防本部において「普通救命講習」を実施します。  
事務局(國方)

## 11 月度 活動報告

活動日	活動区分	担当部門	参加者数	活動内容
10/24(月)	広報	事務局	2名	会報第4号編集(~29日)
10/25(火)	研修	事務局	1名	「県民活動基盤強化事業」講座に参加
10/29(土)	合同	農事・農教室	51名	そば刈取り、ハザ架け(ファーム圃場)、ラッカセイ収穫
10/30(日)	広報	事務局	2名	会報第4号印刷、発送、配信
11/2(水)	定例	環境保全	15名	城址登り口の手すり架け替え、倒木、枝の片付け
々	会議	事務局	6名	安全管理委員会(出席者:6名、欠席者:6名)
11/5(土)	合同	農事・農教室	50名	そば刈取り、ハザ架け(ミカン山下圃場)、そば脱穀
11/9(水)	研修	事務局	1名	「県民活動基盤強化事業」講座に参加(~10日)
11/13(日)	合同	農事・農教室	41名	そば脱穀、ネギ収穫、ヤツガシラのズイキ収穫
11/14(月)	申請	農地保全	1名	箕輪園地借地手続申請
11/20(日)	農教室	農事・農教室	42名	サトイモ収穫、ダイコン収穫、秋野菜収穫
11/25(金)	合同	交流事業他	26名	そば祭り準備
11/26(土)	合同	交流事業他	82名	そば祭り(9時~15時)
11/27(日)	会議	事務局	10名	第5回定例理事会(18時~21時)
11/29(火)	外部	農地保全	8名	米作農家から堆肥用籾殻引取り

## 12月~1月度 活動計画(活動時間:8時30分~12時00分)

活動日	活動区分	担当部門	活動内容	留意事項
11/28(月)	広報	事務局	会報第5号編集・校正(~30)	
12/1(木)	市内	事務局	「NPOの日」リーフレット配布	
12/7(水)	合同	事務局他	大掃除、農具・工具・器具・備品管理	<b>ご都合のつく方ご参加ください。</b>
12/10(土)	農教室	農事・農教室	ヤツガシラ収穫、農具の整備 修了式、芋煮会	
12/16(金)	合同	交流事業他	餅つき大会準備	<b>9時集合、都合のつく方ご参加ください。</b>
12/17(土)	合同	交流事業他	餅つき大会	9時開始、スタッフは8時集合 参加料:会員 500円、ご家族等 1,000円、中学生以下無料
12/21(水)	会議	事務局	第6回定例理事会	
12/22(木)	広報	事務局	会報編集・校正・配信(~30日)	
12/?	部会	環境保全	ミツバチ部会(巣箱の防寒対策等)	
12/?	部会	竹炭部会	炭焼き、伐採計画	
12/?	箕輪	農地保全	ハンマーモア草刈、反転プラウによる農地除染、空間線量計測	
12/?	箕輪	農地保全	「えひめAI」培養試験	
1/28(土)	サロン	交流事業他	有機(生態系)農業基礎講座	18:30~20:30 けやきプラザ7階 参加料、会員 500円、一般 1,000円
1/12(木)	会議	事務局	ACNW 新年会、市長懇談会	遠藤、國方出席
1/15(日)	定例	環境保全	樹林地管理(下草刈り、枯れ枝片付け)	
1/?	箕輪	農地保全	ビニールハウス組立、ボカシ肥料	

日程の変更がある場合はHPの「お知らせ」テロップでご案内します。

お問合せ先は、TEL:04-7184-3385(國方)、04-7131-3450(吉田)宛にお願いします。

### ありがとうございました!

- ・ 鈴木健弘さんからお椀を52個寄贈頂きました。
- ・ 原勇一さんから刈払機を一台寄贈頂きました。
- ・ 遠藤織太郎さんから手賀沼流域フォーラムでの講演料5,000円を寄付していただきました。
- ・ 「そば祭り」でサトイモを購入して頂き、東日本大震災の義援金として6,000円を寄付いたしました。

### 編集後記

会員の皆様のメーリングリストを作りました。会報の配信やお知らせ、資料等の配付に利用したいと考えております。パソコンをお使いの方、是非、登録してください。今年もあと一ヶ月になりました。今年手賀沼トラストにとって節目の年でした。更なる飛躍に向けて新しい年を迎えたいものです。  
(國方記)